

体育科学学位プログラム ハイパフォーマンス科学コース（博士前期課程）								
養成する人材像	<p>体育スポーツに関する幅広い学識ならびに専門知識を習得し、体育スポーツの高度な指導力を有する指導者ならびに体育スポーツに関する専門知識と研究能力をもった高度職業人を養成する。特に、スポーツパフォーマンスおよび競技力向上に関する体系的知識を修得し、関連諸科学の知見を基に、課題を科学的に分析し解決する能力を養成する。</p>							
教育研究の特徴	<p>現代において、人の運動能力を改善するための効果的なトレーニングとは科学的エビデンスに基づいて展開されるべきものであると広く認識されています。また、トレーニング科学は、与えられた運動負荷に対する人間の適応過程を科学的に分析し、健康や体育・スポーツへの応用を意図した専門領域です。本コースでは、主としてスポーツパフォーマンスおよび競技力の向上を目的としたトレーニング科学を学びます。スポーツパフォーマンスが心・技・体の観点から成り立つことに合わせて、心理学、生理学、バイオメカニクス、トレーニング学、アスレティックトレーニング学、栄養学を学び、パフォーマンス向上に関する総合的知力を身に付けて、実践的研究・客観的指導を拡大・深化させることのできる学識と研究能力をもった専門家を育成します。机上理論を現場で検証するのではなく現場で生じる課題を敏感に、かつ的確にとらえ、客観的方法で問題解決を図ることができる専門家、研究者の育成を意図し、以下のカリキュラムを用意しています。なお、学生は自身の研究領域に応じて履修科目を選択します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・体力（筋力、筋パワー、持久力）の向上（トレーニング学、スポーツ生理学）</li> <li>・動作、技術（skill）の向上と戦術（スポーツバイオメカニクス）</li> <li>・心理、および心理生理学的アプローチ（スポーツ心理学）</li> <li>・栄養摂取、コンディショニング（スポーツ栄養学）</li> <li>・障害予防・現場復帰のトレーニングとコンディショニング（アスレティックトレーニング学）</li> <li>・様々な競技力向上サポート実践について（競技力向上サポート論）</li> </ul>							
修了後の進路	<p>後期課程への進学／中学校・高等学校教諭（保健体育）／専門学校教諭／青年海外協力隊職員／スポーツ指導者／アスレティックトレーナー／スポーツ競技団体職員／スポーツ関連機関職員／スポーツクラブ指導者／スポーツ関係企業人／医療機関職員など</p>							
科目区分	1年次				2年次			
	前学期		後学期		前学期		後学期	
大学院共通科目（必修）	身体総合学術論	2						
研究群共通科目（必修）	研究報告演習Ⅰ	2			研究報告演習Ⅱ	2		
基礎科目（選択）	ハイパフォーマンス科学特論	2						
	トレーニング学特論	2						
	スポーツ生理学特論	2						
	スポーツ栄養学特論	2						
	スポーツバイオメカニクス特論	2						
	スポーツ心理学特論	2						
	スポーツデータサイエンス特論	2						
他学位プログラム・コース科目								
専門科目（選択）			ハイパフォーマンス科学研究法A～L	各2				
研究指導科目（必修）	体育科学研究Ⅰ	1	体育科学研究Ⅱ	1	体育科学研究Ⅲ	2	体育科学研究Ⅳ	2
履修方法	<p>次の履修方法により、30単位以上を修得すること。</p> <p>(1) 大学院共通科目: 2単位</p> <p>(2) 共通科目: 4単位</p> <p>(3) 基礎科目: 所属コースの科目から8単位以上 ※「ハイパフォーマンス科学特論」は必修</p> <p>(4) 専門科目: 所属コースの科目から2単位以上 ※研究指導教員が担当する科目は必ず選択する。</p> <p>(5) 基礎科目及び専門科目を合わせて18単位以上 ※各学位プログラムが履修を認める科目は、単位数に含めることができる。</p> <p>(6) 研究指導科目: 体育科学研究Ⅰ～Ⅳの6単位 ※研究指導教員が担当する科目を選択する。</p>							
修了要件	<p>2年以上在学し、学位プログラムが定める修了に必要な授業科目を30単位以上修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、修士論文の審査及び最終試験に合格することとする。</p>							
その他の学修・研究			学会発表		中間発表会 学会発表		修士論文作成 修士論文審査 最終試験 最終発表会	